

JEITA LPB-SC LPB Workshop2021TG

活動報告

半導体&システム設計技術委員会
LPB-SC



LPB フロントローディングWorkshop2021TG 概要

- 目的
 - 2021年度LPBワークショップの準備・運営
- 期間
 - 2021/06/09～2021/10/01
- 成果物
 - LPB フロントローディングWorkshop(Web)の開催
 - アンケート集計

活動スケジュール 準備期間約3か月

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

LPB-SC		▲(6/25)			▲(9/3)		▲(10/22)			▲(1/7)		▲(3/4)
ライブラリTG		▲(6/9)	▲(7/2)	▲(8/6)	▲(8/27)	▲(9/8)	▲(10/1)	▲(10/15)		▲(12/10)	▲(2/4)	(4/8) ▲
イベント					▲(9/17)					▲(11/8)		▲(3/4)
					LPB フロントローディング ワークショップ 2021					JEVeC		第14回フォーラム
■ Webイベント	Webシステム検討(WebEx)→											
	実施方法検討 →											
	プログラム検討 →											
	資料準備 →											
	資料事前公開 →					9/16 〆切						
	リハーサル? 実施方法決定 →					▲(9/8 13:00-)						
	→											
	Webページ作成・管理 →		筒井・村田									
	申込ページ作成(8/6) →					▲登録者に接続先連絡(9/16)						
						▲お礼+アンケート依頼						
	アンケート(8/27)Google forms(QRコード) →		筒井・村田									
												▲報告(10/1)
■ 広報			▲(7月イベント告知)									
						▲(8月Web予約開始 18頃配置)						
						メルマガ広報+開催の内容を 小林						
			(~8/31 タイトル、ポイント)			▲(9月プログラムの概要を配信)						
						▲(9月講演資料公開)						

LPB フロントローディングWorkshop2021開催概要

- 開催日時 : 2021年9月17日 (金) 15:00~17:00
- セミナ方式 : ウェビナー WebEx
- 配信会場 : リモート
- 申込者 : 51名 (一般22名/委員29名)
- 参加者 : 46名 (一般22名/委員24名)

プログラム	発表者	時間	タイムスケジュール
1. 開催にあたって	福場	10分	15:00-15:10
2. フロントローディング	林	35分	15:10-15:45
3. EMC設計のフロントローディング	野村	35分	15:45-16:20
4. 電源設計のフロントローディング	坂田	35分	16:20-16:55
5. 閉会の挨拶・連絡事項	筒井	5分	16:55-17:00

ウェビナー概要

- フロントローディングWSは参加者との議論するため双方向で会話可能なWebExを使用。

項目		フロントローディングWS
Web会議システム	システム名	Webex
	契約	JEITA 所有のライセンス
	発表	発表者のみ可能
	発言	全員可能
配信会場		全員リモート
配信方法	生配信	3件
	録画	0件
質疑応答	質問	音声
	回答	音声
アンケート		Google formsに投稿

フロントローディングWSの反省

キーワード	コメント
Webex	<ul style="list-style-type: none">・使い慣れた会議システムのためトラブルなく使用できた。・運営が全員リモートでも開催が可能。・リアルタイムで質疑応答できた。・音声が途切れた(アンケートから)・Webの方が参加しやすく、ありがたい(アンケートから)・会話にカットインする仕組みがあるとよい。挙手ボタンなど。(アンケートから)
Google forms (アンケート)	<ul style="list-style-type: none">・一般参加者のアンケートの回収率41%と前回(48%)より少し低い。後日記入依頼メールでの効果あり。・URLが社内環境からアクセスできない事例はQRコードで対処できた。
リハーサル	<ul style="list-style-type: none">・使い慣れたシステムのため、リハーサルは1回で済んだ。

フロントローディングWSの反省

キーワード	コメント
当日の配信について	<ul style="list-style-type: none">・全員リモートであったが、大きなトラブルなく配信出来た。・マイクの性能によるが、喋り始めの音声を拾わないケースあり。(んー、えーを最初に入れる)・議論を誘導するサクラを仕込んでおり、沈黙にはならなかった。・5分前にタイムキーパーから連絡があり、焦ったが、終わらせないという意思をもてた。
発表者	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップを継続してやれてよかった、フロントローディングで2時間議論でき、活動内容を周知できた。・林さんのセッションでは議論ではなく、伝えたい内容を伝えて細かな議論は野村さん、坂田さんのセッションでもよかったかもしれない。・時間のコントロールとして、「話を膨らませる方」と、「話をまとめる方」の両立は難しい。・発表者の顔出しを忘れた。(他の操作に気を取られた)・異業種の方と議論出来た。・議論が進んだのであえて発言しなくても良いという雰囲気があった。・メモを取りながら話すを難しい<ul style="list-style-type: none">→ 書記を用意し、要約する役割の人がいても良かった (内容の理解も必要)・ディスカッションできてほっとした。・Sim結果の結果を示したが、条件も説明できればよかった。モデリングにもFeedbackが出たかも。
技術課題をどのように検討すべきかヒントが得られたか	<ul style="list-style-type: none">・形→特性(一般)、特性→形(JEITA型)の両方の側面「特性⇔形」が必要で、特性→形へのFeedbackのやり方が課題ということが分かった。・フロントローディングはやりたいのだからと思うが、やれていない現状を変えていく必要あり。・Simで解決か、課題をどうやって解くかにフォーカスするか。
公開資料のURL	<ul style="list-style-type: none">・事前に資料を公開できた。

アンケート実施方法・回答数

- Google Formsを使いアンケートを実施。
- 回答率は一般参加者は41%程度。
第13回の48%(18/37)に比べると少し低い。
- 後日メールで回答をお願いしたため回答率は少し上がった。

	フロントローディングWS			(参考)第13回 フォーラム		
	回答数	参加者	回答率	回答数	参加者	回答率
一般参加者	9名	22名	41%	18名	37名	48%
JEITA委員	8名	24名	33%	18名	32名	56%
合計	17名	46名	37%	36名	69名	52%

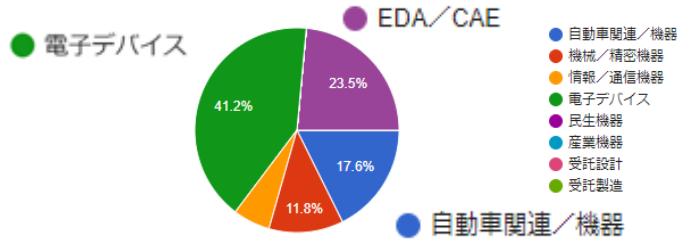
アンケート結果

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

フロントローディングWS

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

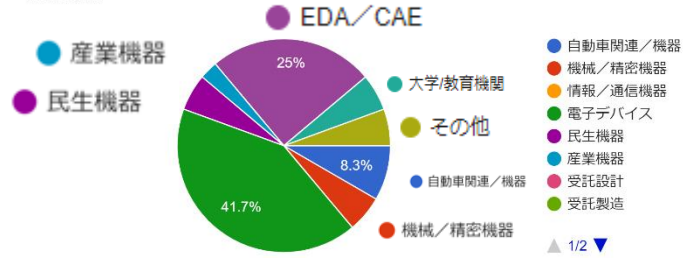
17件の回答



(参考)第13回

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

36件の回答

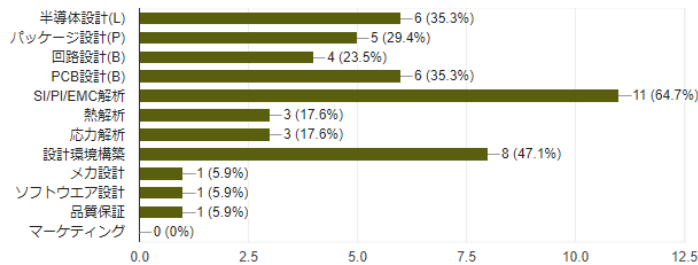


電子デバイス・EDA/CAEが約7割を占める。

Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

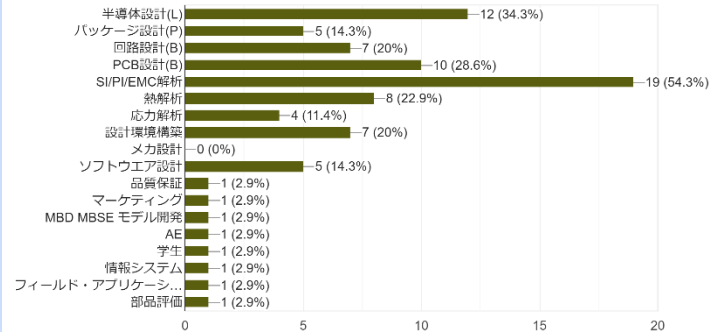
Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

17件の回答



Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

35件の回答



SI/PI/EMC解析の割合が高い。

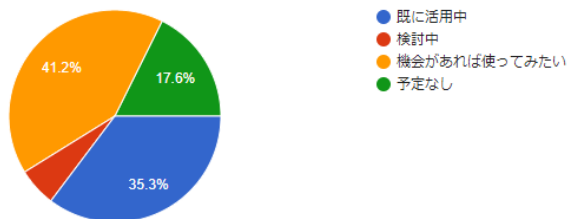
アンケート結果

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

フロントローディングWS

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

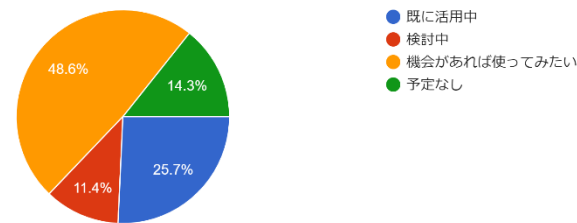
17件の回答



第13回

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

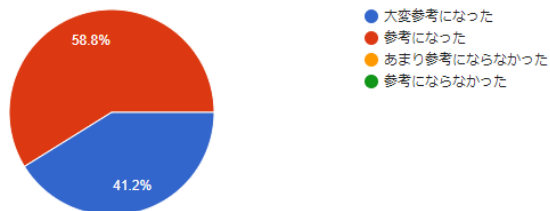
35件の回答



Q4-1. 本フォーラム全般について(1つお選び下さい)

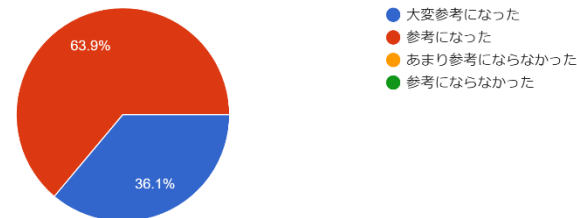
Q4-1. 本ワークショップ全般について(1つお選び下さい)

17件の回答



Q4. 本フォーラム全般について(1つお選び下さい)

36件の回答



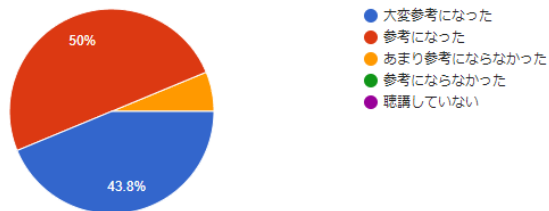
アンケート結果

Q4-2. 各発表について(1つお選び下さい)

フロントローディングWS

Q4-2. フロントローディングについて(1つお選び下さい)

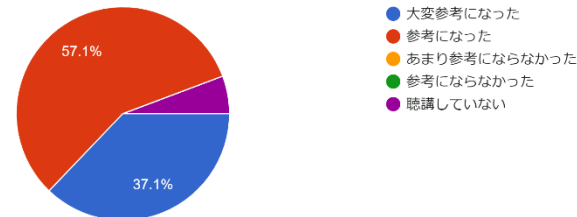
16件の回答



第13回

Q5-1. LPBフォーマット国際標準改訂・普及・教育活動について(1つお選び下さい)

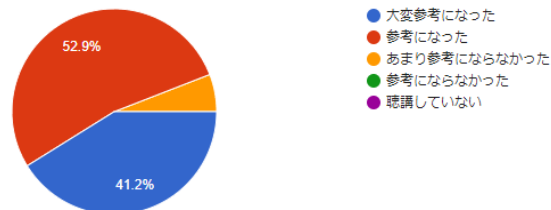
35件の回答



Q4-3. 各発表について(1つお選び下さい)

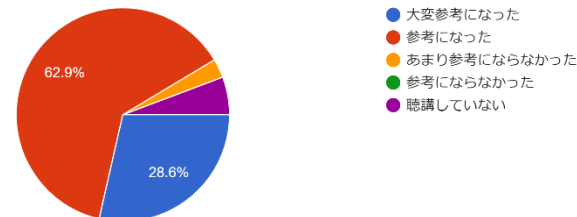
Q4-3. EMC設計のフロントローディング(1つお選び下さい)

17件の回答



Q5-2. CR-8000 Design Force LPBフォーマット対応の拡張(1つお選び下さい)

35件の回答



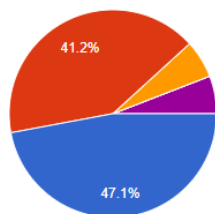
アンケート結果

Q4-4. 各発表について(1つお選び下さい)

フロントローディングWS

Q4-4. 電源設計のフロントローディング(1つお選び下さい)

17件の回答

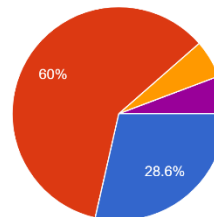


- 大変参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった
- 聴講していない

第13回

Q5-3. LPBフォーマット交換サイト gem-lpb.com のご紹介(1つお選び下さい)

35件の回答



- 大変参考になった
- 参考になった
- あまり参考にならなかった
- 参考にならなかった
- 聴講していない

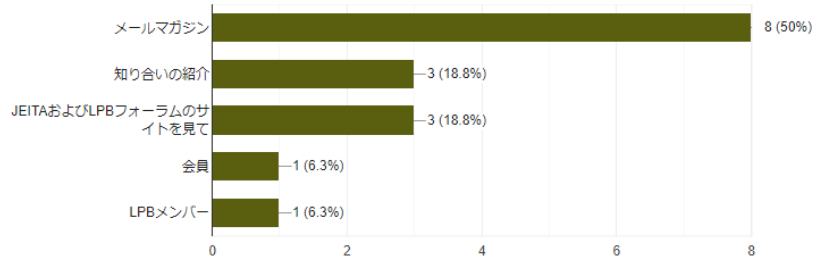
アンケート結果

Q5. 本フォーラムはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

フロントローディングWS

Q5. 本ワークショップはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

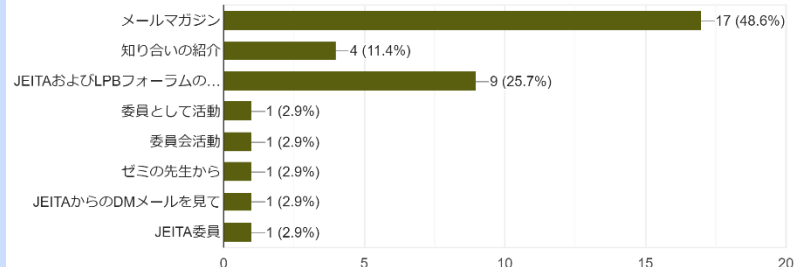
16件の回答



第13回

Q6. 本フォーラムはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

35件の回答



アンケート結果

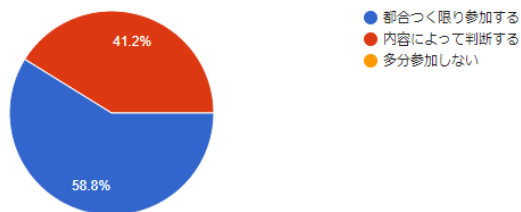
Q6-1. 次回も参加したいですか？（1つお選び下さい）

フロントローディングWS

第13回

Q6-1. 次回、ワークショップ(ディスカッション形式)を開催した場合、参加したいですか？（1つお選び下さい）

17件の回答



Q6-2. 次回何をとり上げて欲しいですか？

Q6-2. ワークショップでディスカッションしたい内容はありますか？ご自由にお書きください。

4件の回答

EMCと電源設計とも2回目やっても面白いと感じました。(筒井)

設計初期に、Inputが少ない中実施するEMC sim.の目的、目標、クライテリア、設計Feedback内容などの考え方について

EMC 電源

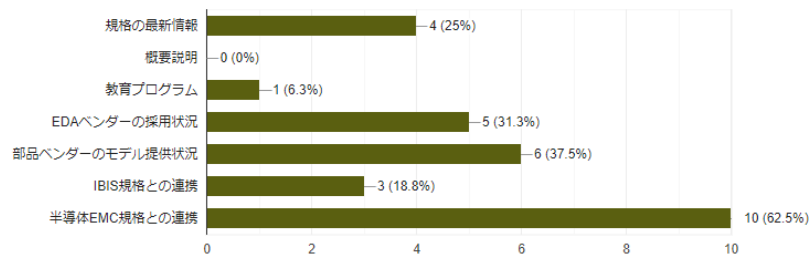
LPBの新しい使い方や運用方法など

アンケート結果

Q7-1. 2022年3月のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)

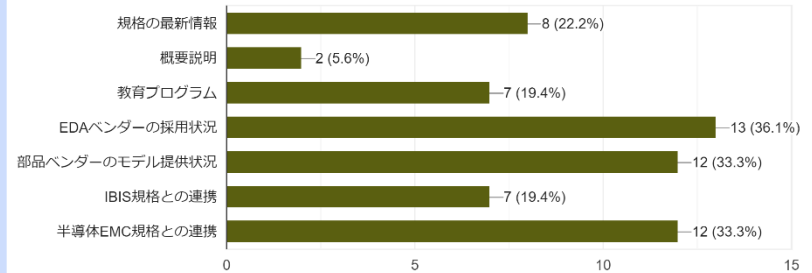
Q7-1. 2022年3月のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)

16件の回答



Q8-1. 次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)

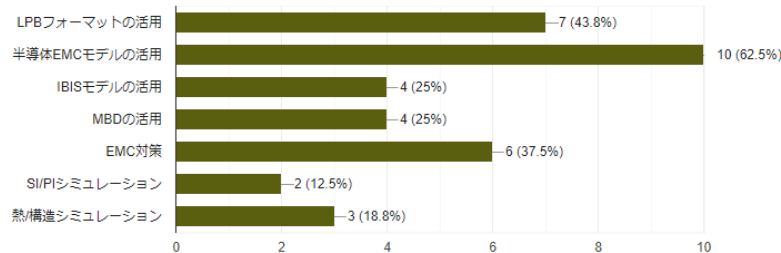
36件の回答



Q7-2. 2022年3月のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(活用事例に関して1つお選び下さい)

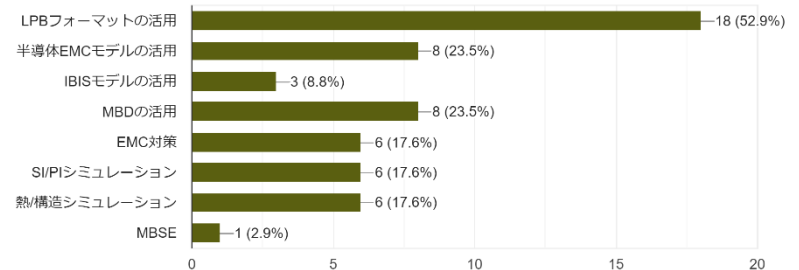
Q7-2. 2022年3月のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(活用事例に関して1つお選び下さい)

16件の回答



Q8-2. 次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)

34件の回答



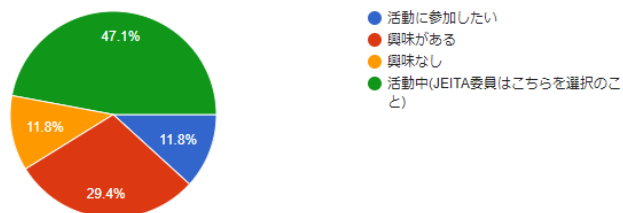
アンケート結果

Q8. JEITA 半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？

フロントローディングWS

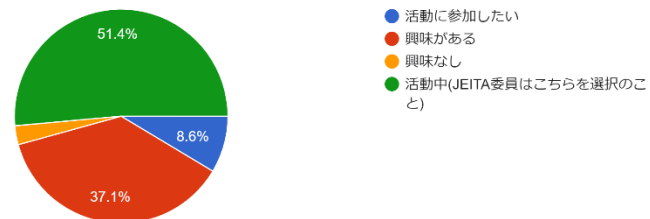
Q8. JEITA 半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？（1つお選び下さい）
下さい）

17件の回答



第13回

Q9. JEITA 半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？（1つお選び下さい）
35件の回答



「活動に参加したい」はJEITA委員による回答

アンケート結果

Q9. 本活動に期待すること、本フォーラムで興味あった内容、もっと詳しく知りたい内容などご自由にお書き下さい。

フロントローディングWS

EMCフロントローディング

電源ICの選定はセットの片側お詳しいはずなので、ご意見伺いたかった。

EMC性能のバジェットिंगの考え方やその妥当性について

多くの事例を発表してもらい、様々な場面でLPBが使われることを期待

LSIに内蔵されたDC/DCがEN時に想定外の電流を吸い込むトラブルが有りモデル化反映希望

当日 発言いただきたかった

アンケート結果

Q10. Webでの開催についてご意見があればお願いします

フロントローディングWS

声が途切れますね

なかなか難しいですがやって良かったと思います。

Webだと気軽に参加できますが、ネタ振りは事前に参加者から募集しておくのが良いかも

リアル開催に比べると顔が見えないので発言が出にくいと感じました。

ネットワーク負荷が重くなるかもしれないが、ビデオオン可能な方はオンという手も。

参加し易いが、参加者の表情が分からない為、反応が分かりづらい。

Webでのワークショップは私自身初めての参加でしたが、進行やご説明が明瞭で、大変楽しく、有意義な時間でした。

今後のセミナーで発言者が増えてくると、カットインのタイミングを計りにくくなると思いますので、何か事前に決めごといただくとよいように感じました。(ex.挙手ボタンで各自意思表示⇒進行担当が指名 など)

流れを変えるため、有効

別のWSから

- ・Zoom会議(Teamsでも可能)では強制的に参加者で5名程度別のMTGを立ち上げて
(ZoomはいまだにNGの企業有)(使うときだけZoomをインストールしそのあとアンインストールすればOKのケースも)
Webexでもある。WBS 40.9以降で可能。(石崎さんに契約内容を確認する 筒井)
- ・ファシリテータがスプレッドシートに各人のご意見を書いてもらう
- ・全体会議 → 個別 → 全体(ファシリテータが結果を発表)